

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

2023年 6月15日

京都府知事 様



提出者住所 大阪市北区梅田3丁目3番5号  
氏名 大和ハウス工業株式会社 本店  
常務執行役員本店長 能村盛隆

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 06-6342-1240

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、2022年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	大和ハウス工業株式会社 本店 京都府管轄内事業場
事業場の所在地	京都府管轄区域内
事業の種類	06 総合工事業
産業廃棄物処理計画における 計画期間	2022年4月1日～2023年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	3,906.9 t	全処理委託量	3,906.9 t
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への 処理委託量	34.7 t
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への 処理委託量	3,739.0 t
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t
※事務処理欄			

(日本工業規格 A列4番)

## 計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:汚泥)

有 備 物 量
不要物等発生量

自ら直接  
再生利用した量  
②0自ら直接  
再生利用した量  
③0

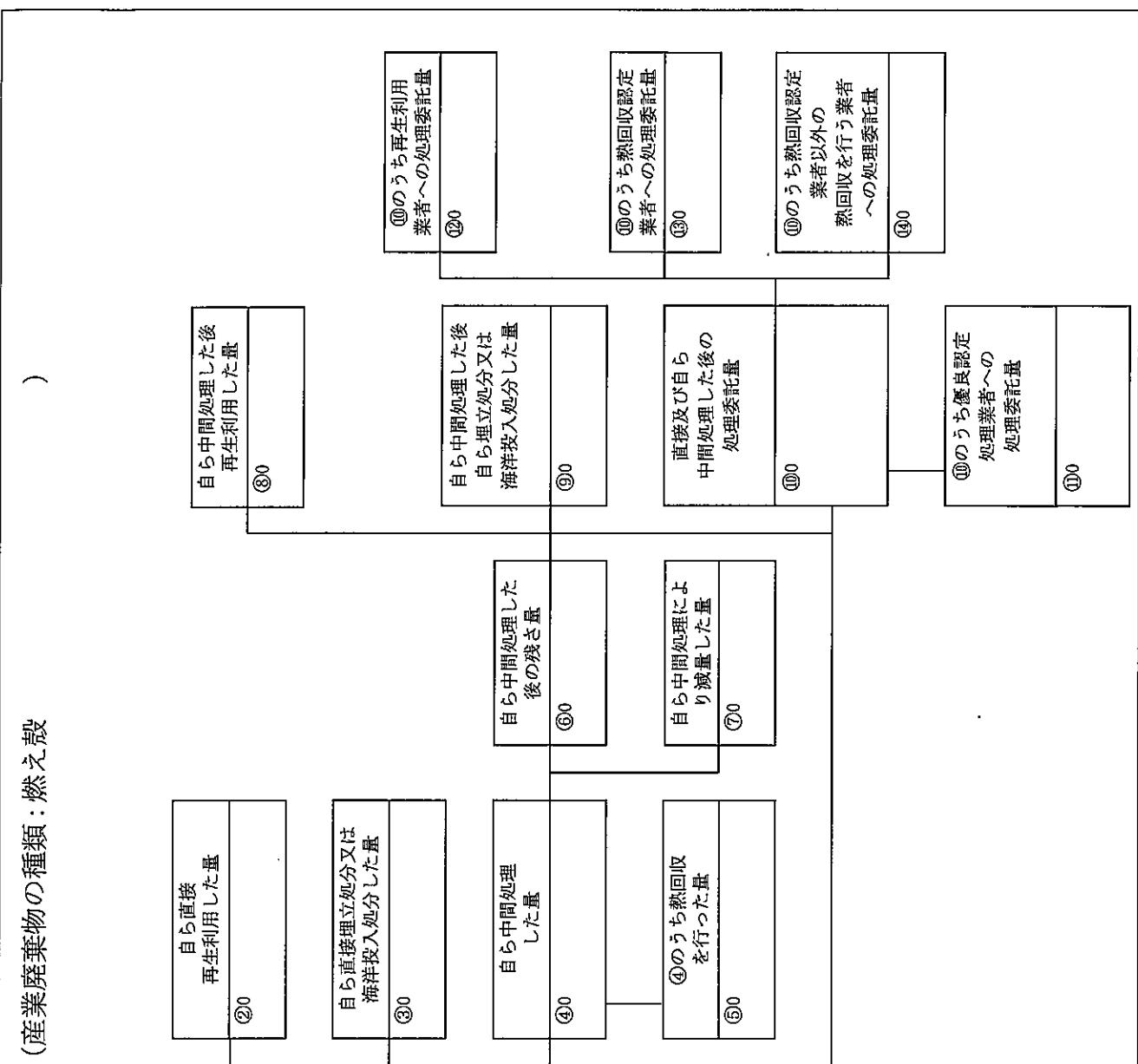
排 出 量
0

自ら直接埋立処分又は  
海洋投入処分した量  
④0

項目	実績値	自ら中間処理した後 の残さ量	自ら中間処理した後 の残さ量	直接及び自ら 中間処理した後の 処理委託量	自ら熱回収認定 業者以外の 熱回収を行う業者 への処理委託量	自ら中間処理した後 の残さ量
①排出量	0	④0	⑥0	⑨0	⑩0	⑪0
②+⑧自ら再生利用を行った量	0	④のうち熱回収 を行った量 ⑤0	⑦0	⑩0	⑪0	⑫0
⑤自ら熱回収を行った量	0	④のうち熱回収 を行った量 ⑤0	⑦0	⑩0	⑪0	⑫0
⑦自ら中間処理により減 量した量	0	④のうち熱回収 を行った量 ⑤0	⑦0	⑩0	⑪0	⑫0
⑨+⑩自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0	④のうち熱回収 を行った量 ⑤0	⑦0	⑩0	⑪0	⑫0
⑪全処理委託量	0	④のうち熱回収 を行った量 ⑤0	⑦0	⑩0	⑪0	⑫0
⑫再生認定処理業者への 処理委託量	0	④のうち熱回収 を行った量 ⑤0	⑦0	⑩0	⑪0	⑫0
⑬熱回収認定業者への処 理委託量	0	④のうち熱回収 を行った量 ⑤0	⑦0	⑩0	⑪0	⑫0
⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処 理委託量	0	④のうち熱回収 を行った量 ⑤0	⑦0	⑩0	⑪0	⑫0

自ら中間処理した後  
再生利用した量  
③0⑩のうち再生利用  
業者への処理委託量  
⑪0自ら中間処理した後  
自ら埋立処分又は  
海洋投入処分した量  
⑨0⑩のうち熱回収認定  
業者への処理委託量  
⑪0⑩のうち熱回収認定  
業者以外の  
熱回収を行う業者  
への処理委託量  
⑪0⑩のうち熱回収認定  
業者への処理委託量  
⑪0

計画の実施状況	
項目	実績値
①排出量	0
②+③自ら再生利用を行った量	0
④自ら熱回収を行った量	0
⑤自ら中間処理により減量した量	0
⑥⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0



(産業廃棄物の種類：燃え殻)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：廃油)

有 債 物 量	
不要物等発生量	

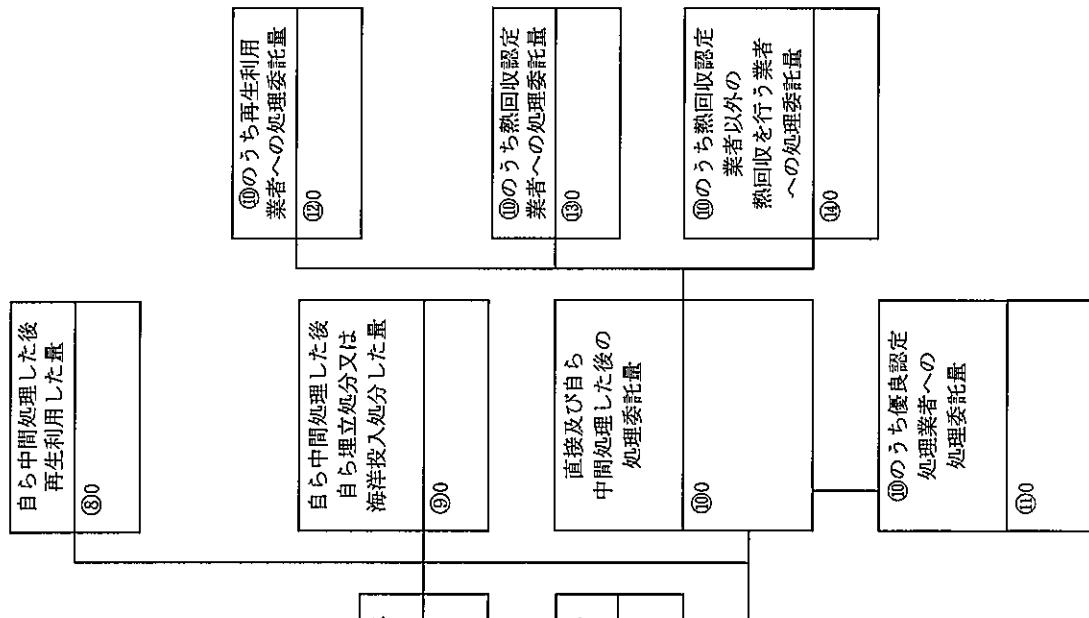
自ら直接 再生利用した量	②0
自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分した量	③0

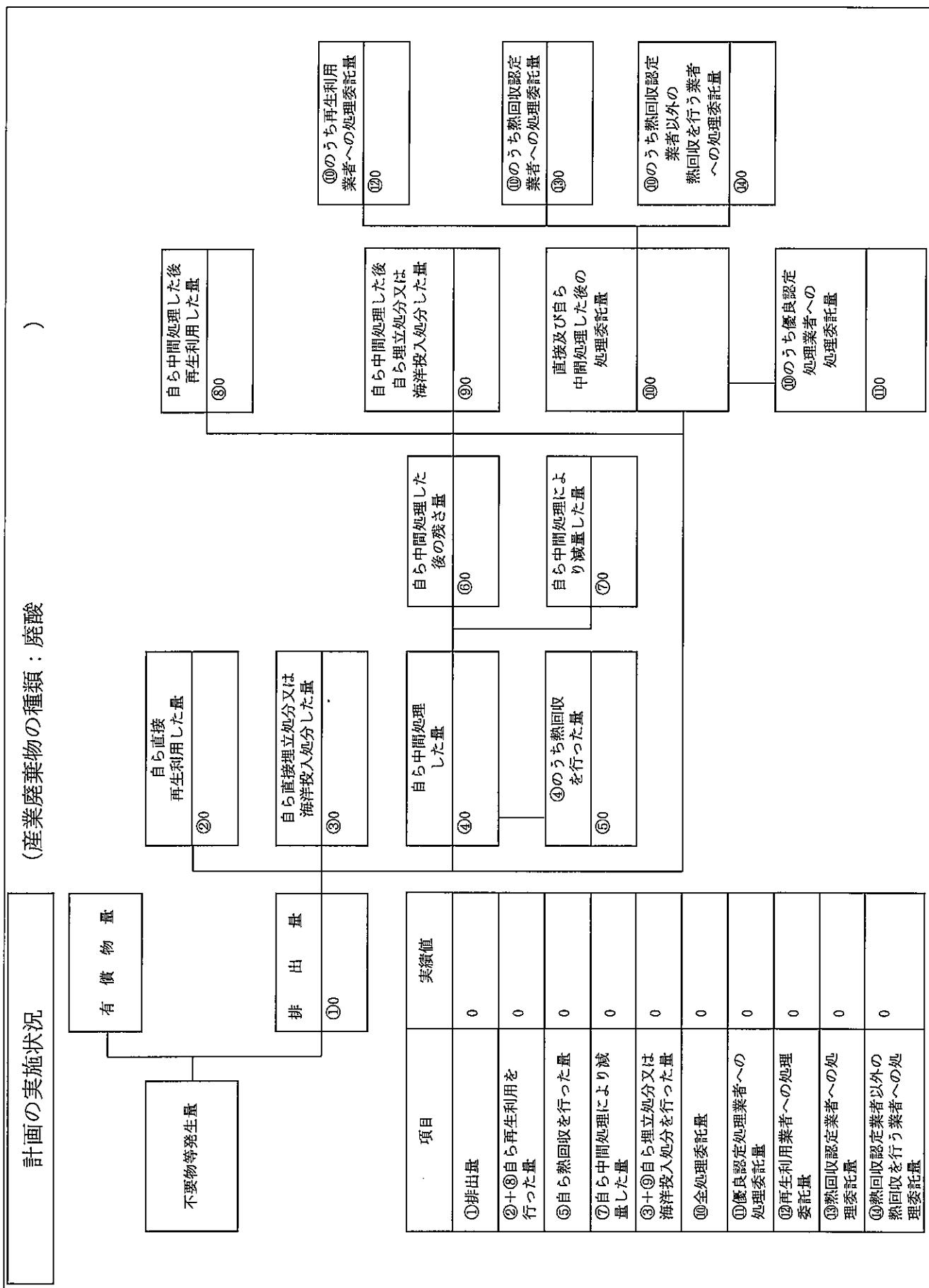
排 出 量	
①0	

項目	実績値	自ら中間処理 した量	自ら中間処理した 後の残さ量	自ら中間処理による 減量	直接及び自ら 中間処理した後の 処理委託量	⑩のうち優良認定 処理業者への 処理委託量
①排出量	0		④0	⑥0	⑩0	⑪0
②+③自ら再生利用を行った量	0			④のうち熱回収 を行った量	⑦0	
⑤自ら熱回収を行った量	0			⑤0		
⑦自ら中間処理により減量した量	0				⑩0	
③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0					
⑩全処理委託量	0					
⑪優良認定処理業者への 処理委託量	0					
⑫再生利用業者への処理 委託量	0					
⑬熱回収認定業者への処 理委託量	0					
⑭熱回収を行う業者への処 理委託量	0					

)

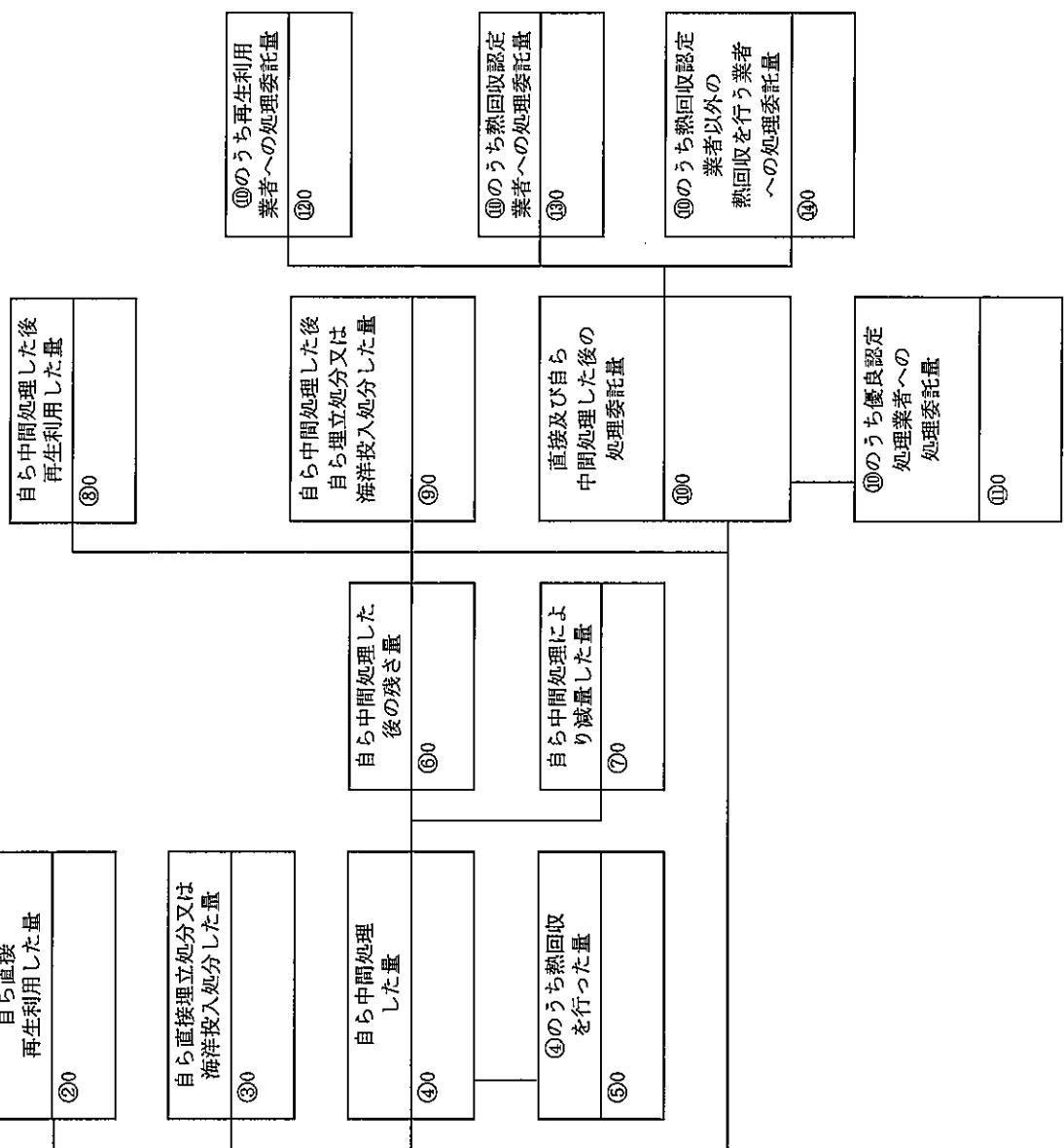
(第2面)





計画の実施状況		(産業廃棄物の種類：廃アルカリ)	
有 備 物 量	不要物等発生量	自ら直接 再生利用した量 ②0	自ら中間処理した後 再生利用した量 ⑧0
排 出 量	自ら直接処理立替又は 海洋投入処分した量 ③0	自ら直接処理立替又は 海洋投入処分した量 ⑪のうち再生利用 業者への処理委託量 ⑫0	自ら中間処理した後 再生利用した量 ⑪のうち再生利用 業者への処理委託量 ⑫0
項目	実績値	自ら中間処理 した量 ④0	自ら中間処理した後 の残さ量 ⑥0
①排出量	0	④のうち熱回収 を行った量 ⑤0	自ら中間処理によ り減量した量 ⑦0
②+③自ら再生利用を 行った量	0	⑤0	自ら中間処理によ り減量した量 ⑦0
⑤自ら熱回収を行った量	0	⑥0	直接及び自ら 中間処理した後の 処理委託量 ⑪0
⑦自ら中間処理により減 量した量	0	⑦0	自ら中間処理によ り減量した量 ⑦0
③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0	⑧0	自ら中間処理によ り減量した量 ⑧0
⑩全処理委託量	0	⑨0	自ら中間処理によ り減量した量 ⑨0
⑪優良認定処理業者への 処理委託量	0	⑩0	自ら中間処理によ り減量した量 ⑩0
⑫再生利用業者への処 理委託量	0	⑪0	自ら中間処理によ り減量した量 ⑪0
⑬熱回収認定業者への処 理委託量	0	⑫0	自ら中間処理によ り減量した量 ⑫0
⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処 理委託量	0	⑬0	自ら中間処理によ り減量した量 ⑬0

(第2面)



## 計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：廃プラスチック)

有價物量
不要物等発生量

自ら直接再生利用した量
②0

排出量
① 3.595

項目	実績値	自ら中間処理した量	自ら中間処理した後の残さ量	直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	うち熱回収認定業者への処理委託量
①排出量	3.595	④0	⑥0	⑫2,469	⑬0
②+③自ら再生利用を行った量	0				
⑤自ら熱回収を行った量	0	④のうち熱回収を行った量 ⑤0	⑦0		
⑦自ら中間処理により減量した量	0				
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0				
⑩全処理委託量	3.595				
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1.975				
⑫再生利用業者への処理委託量	1,126				
⑬熱回収認定業者への処理委託量	2,469				
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0				

自ら中間処理した後再生利用した量
⑧0

自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量
⑨0

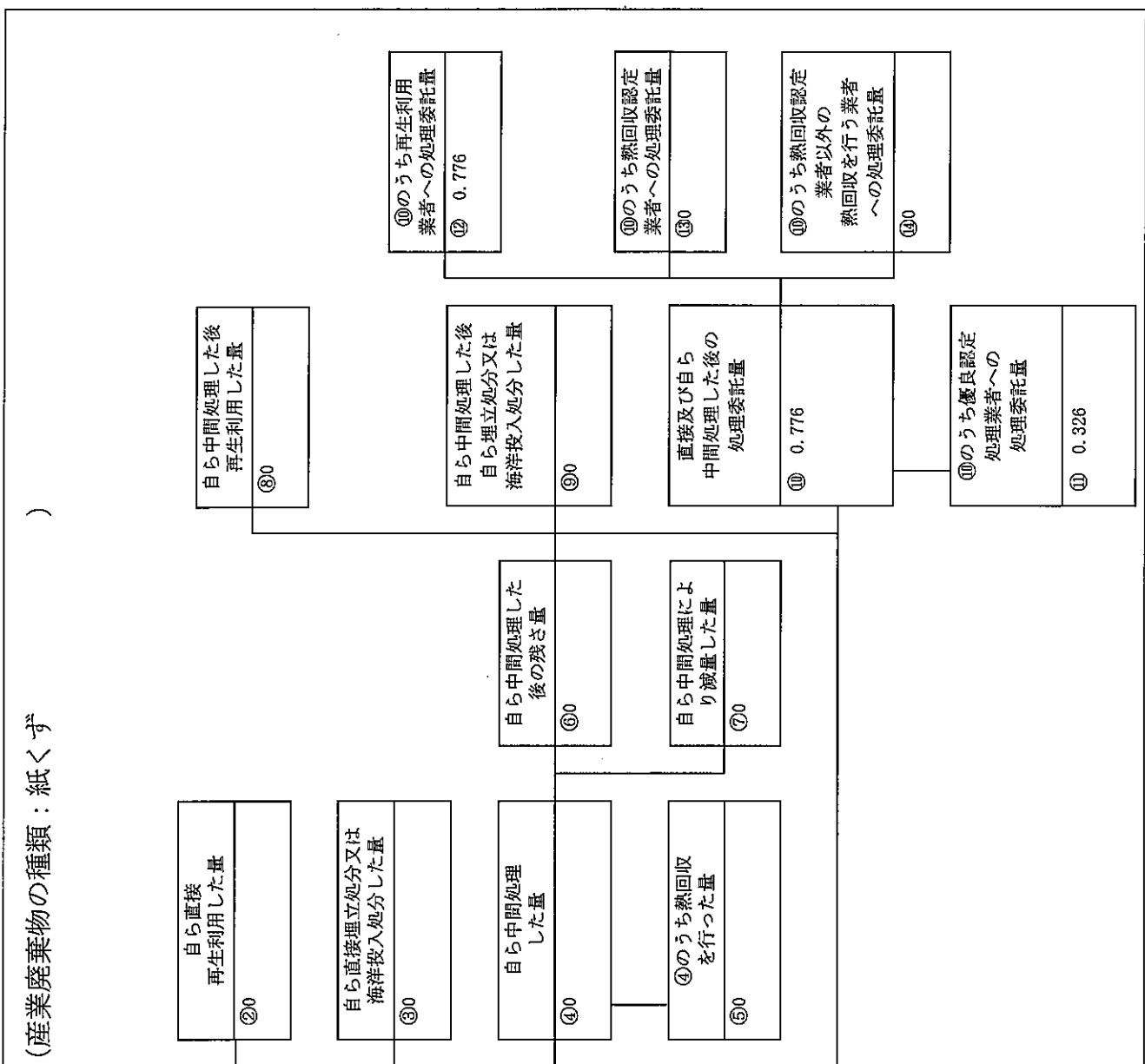
自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
⑩0

⑪のうち再生利用業者への処理委託量
⑫ 1,126

⑪のうち熱回収認定業者への処理委託量
⑬ 0

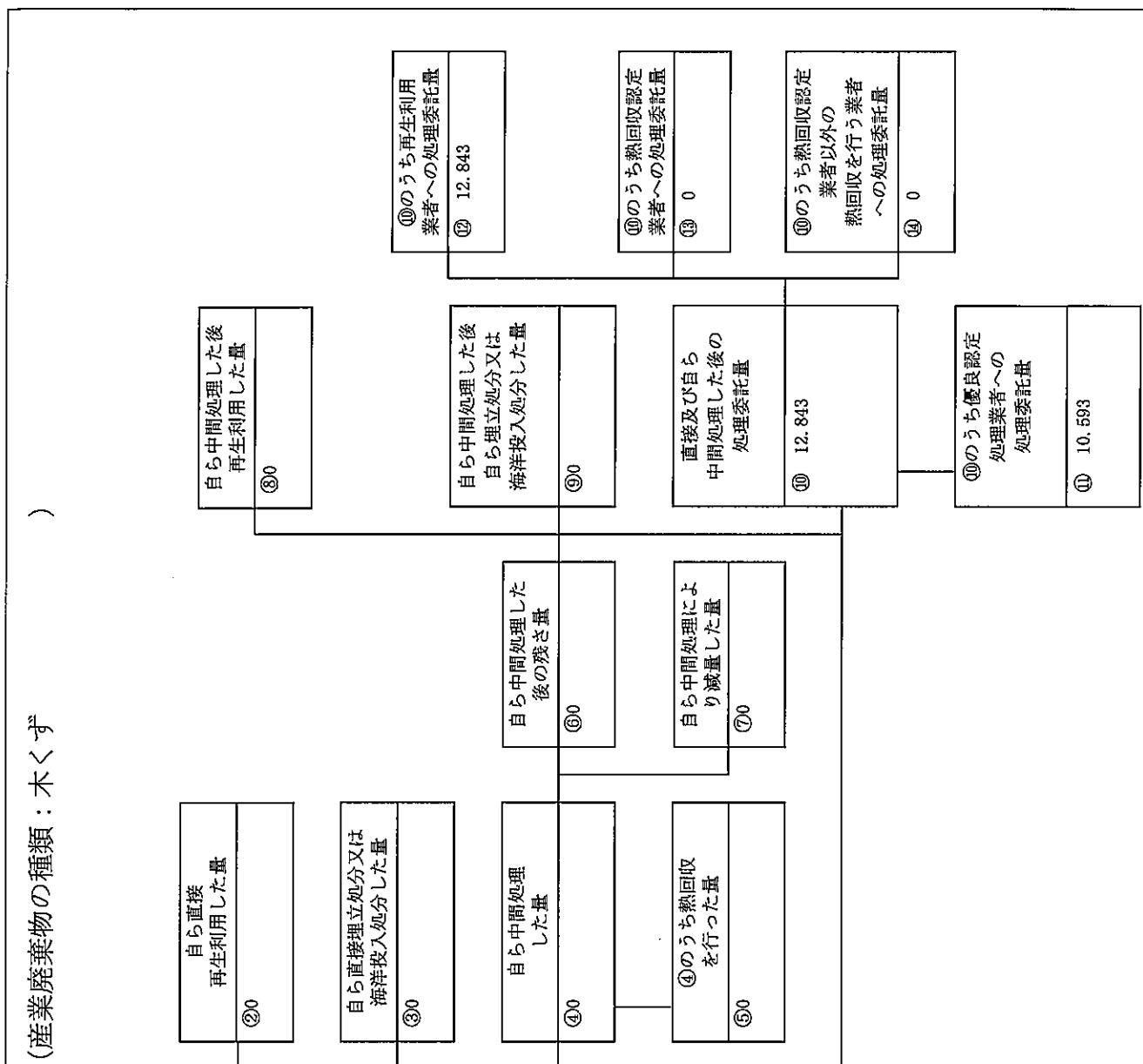
⑪のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
⑭ 1,975

計画の実施状況	
有償物量	不要物等発生量
②0	②0
排出量	① 0.776
項目	実績値
①排出量	0.778
②+③自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	0.776
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.326
⑫再生利用業者への処理委託量	0.776
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0



(産業廃棄物の種類：紙くず)

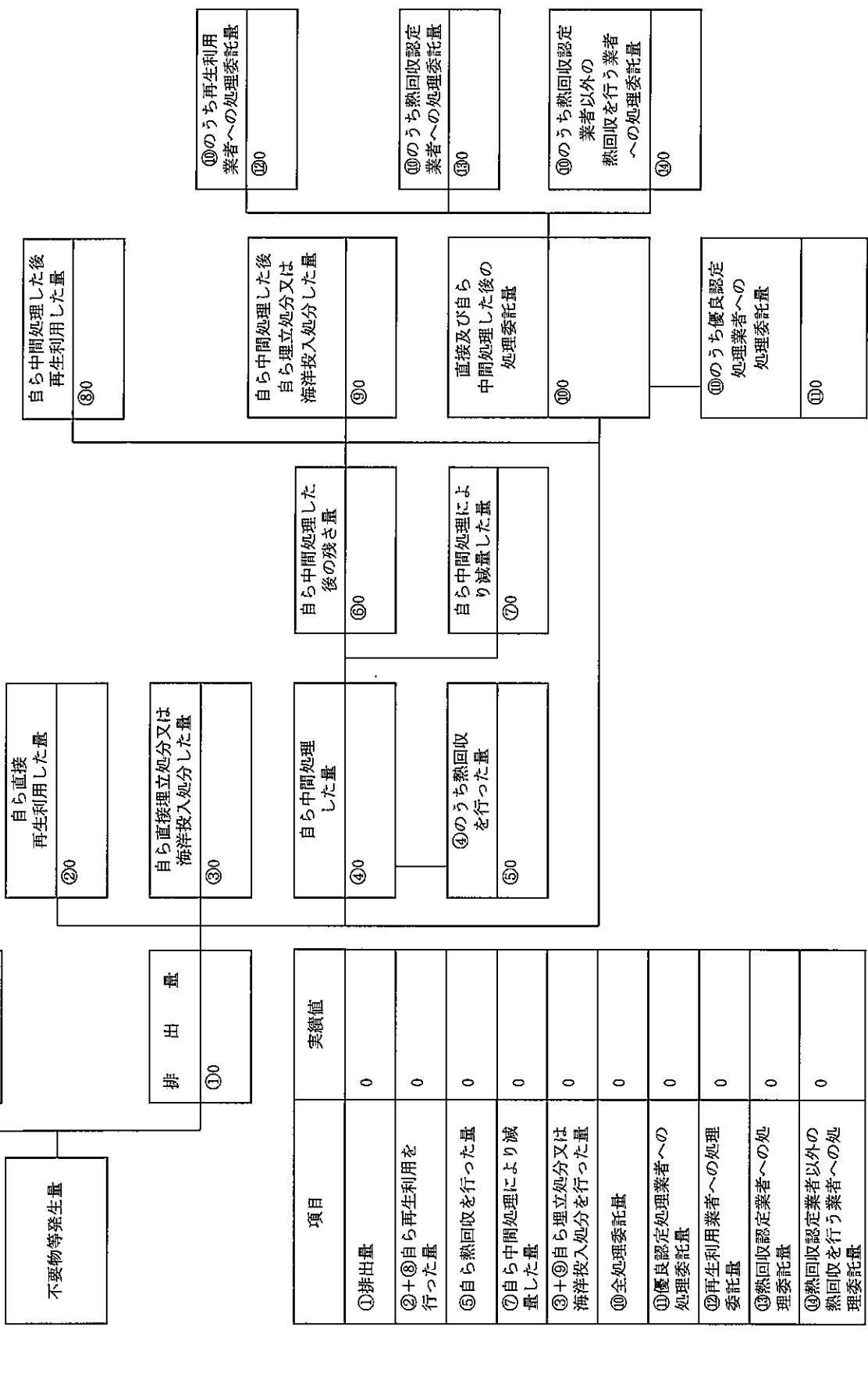
計画の実施状況	
有償物量	不要物等発生量
② 0	自ら直接再生利用した量
① 12.843	自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量 ③ 0
項目	実績値
①排出量	12.843
②+③自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	12.843
⑪優良認定処理業者への処理委託量	10.593
⑫再生利用業者への処理委託量	12.843
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0



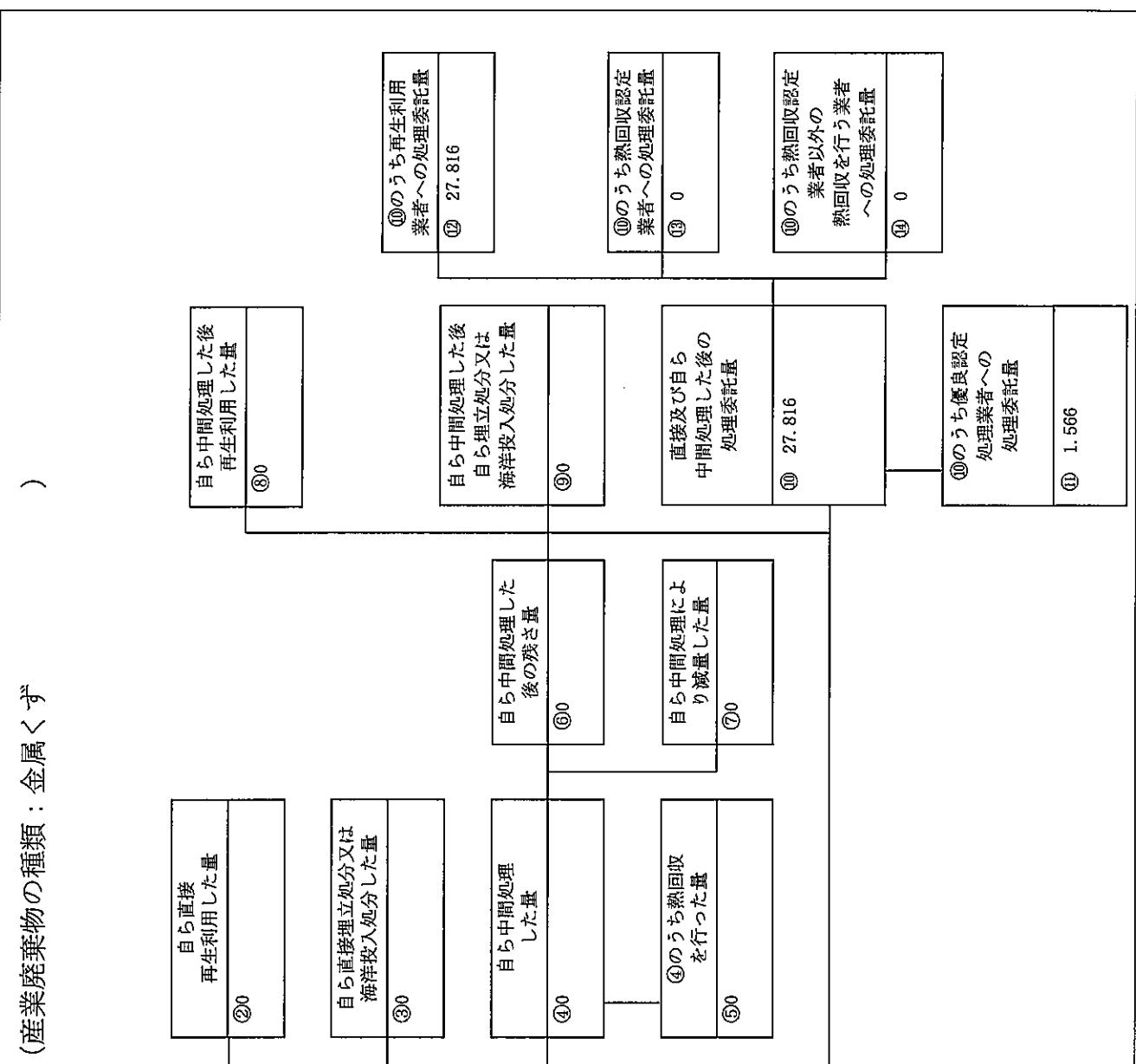
## 計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：繊維くず)

1



計画の実施状況	
有価物量	不要物等発生量
① 27.816	② 0
排出量	自ら直接再生利用した量
① 27.816	③ 0
項目	実績値
①排出量	27.816
②+③自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	27.816
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1.566
⑫再生利用業者への処理委託量	27.816
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収を行いう業者への処理委託量	0



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず)

有償物量
不要物等発生量

自ら直接再生利用した量
②0

自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量
③0

項目	実績値	自ら中間処理した量	自ら中間処理による減量	直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	⑪のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者の処理委託量
①排出量	19,326	④0	⑥0	⑪ 19,326	⑫ 0	⑬ 0
②+③自ら再生利用を行った量	0	④0	④のうち熱回収を行った量 ⑤0	⑭ 0	⑮ 0	⑯ 0
⑤自ら熱回収を行った量	0	④のうち熱回収を行った量 ⑤0	⑦0	⑭ 0	⑮ 0	⑯ 0
⑦自ら中間処理により減量した量	0	④のうち熱回収を行った量 ⑤0	⑦0	⑭ 0	⑮ 0	⑯ 0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0	④のうち熱回収を行った量 ⑤0	⑦0	⑭ 0	⑮ 0	⑯ 0
⑩全処理委託量	19,326	19,326	19,326	19,326	19,326	19,326
⑪優良認定処理業者への処理委託量	3,866	3,866	3,866	3,866	3,866	3,866
⑫再生利用業者への処理委託量	19,326	19,326	19,326	19,326	19,326	19,326
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者の処理委託量	0	0	0	0	0	0

自ら直接再生利用した量
②0

⑩のうち再生利用業者への処理委託量
⑫ 16,326

(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：がれき類 )

有 備 物 量
不要物等発生量

不 妨 物 等 発 生 量
②0

排 出 量
14.253

項目	実績値	自ら中間処理した量	自ら中間処理による減量	直接及び自ら中間処理した後の残さ量	自ら中間処理した後再生利用した量	自ら中間処理した後再生利用した量	うち熱回収認定業者への処理委託量	うち再生利用業者への処理委託量	うち優良認定業者への処理委託量	うち熱回収を行なう業者への処理委託量
①排出量	14.253	④0	⑥0	⑦0	⑧0	⑨0	⑩0	⑪0	⑫0	⑬0
②+③自ら再生利用を行った量	0									
⑤自ら熱回収を行った量	0									
⑦自ら中間処理により減量した量	0									
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0									
⑩全処理委託量	14.253									
⑪優良認定処理業者への処理委託量	7.853									
⑫再生利用業者への処理委託量	14.253									
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0									
⑭熱回収を行なう業者への処理委託量	0									

自ら直接再生利用した量
②0

自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量
③0

⑪のうち再生利用業者への処理委託量
-------------------

⑫ 14.253

自ら中間処理した後再生利用した量
------------------

⑩

⑪のうち熱回収認定業者への処理委託量
--------------------

⑫ 0

直接及び自ら中間処理した後の残さ量
-------------------

⑪ 14.253

⑪のうち再生利用業者への処理委託量
-------------------

⑫ 0

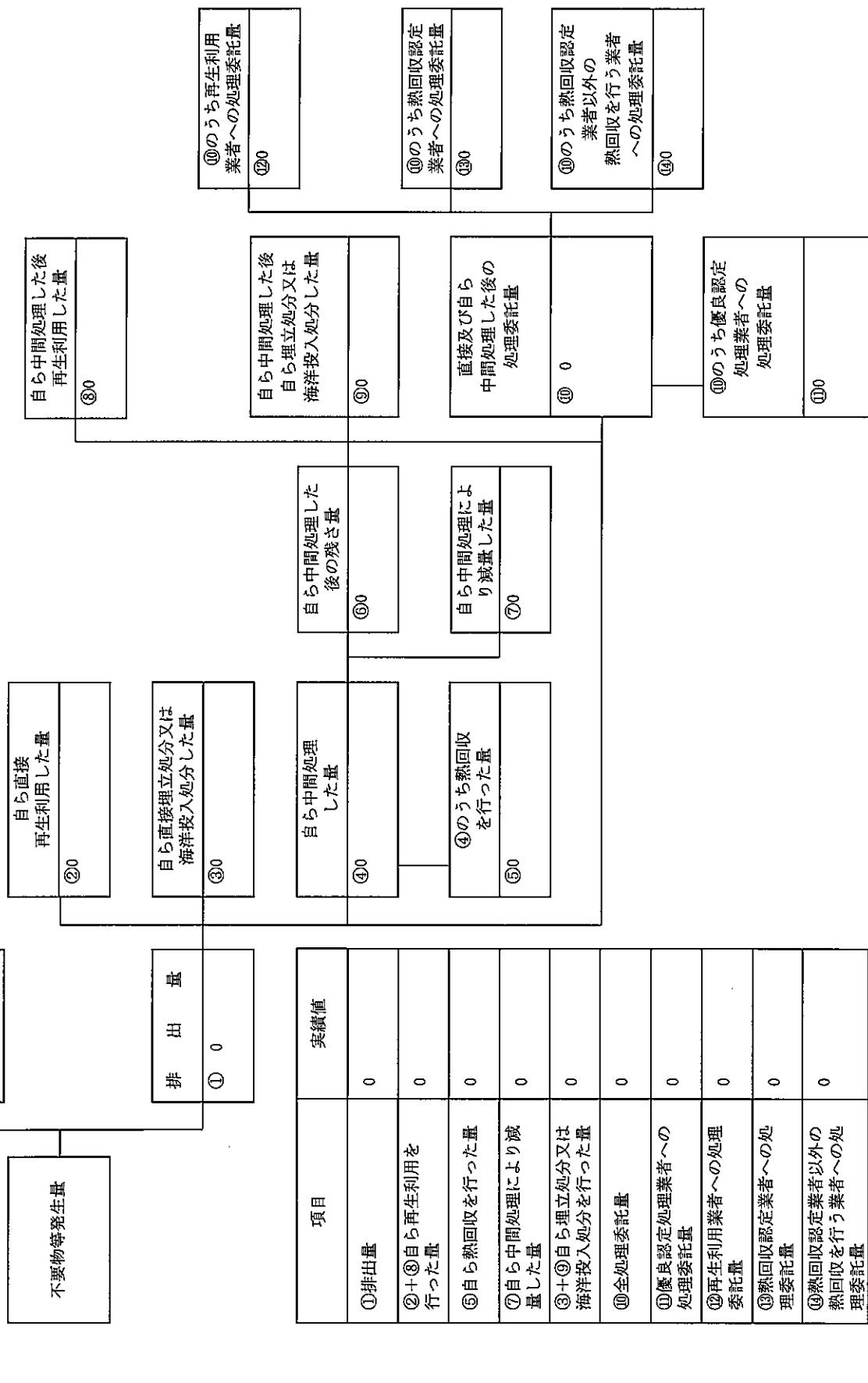
⑪のうち熱回収を行なう業者への処理委託量
----------------------

⑫ 7.853

### 計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：建設系混合廃棄物)

1



# 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項(京都府 別紙)

## ○ 現状 前年度(2022年度) 実績

単位 t

産業廃棄物の種類	0600 廃プラスチック	0700 紙くず	0800 木くず	1200 金属くず	1300 ガラスくず、コン クリートくず及び 陶磁器くず	1500 がれき類	0221 汚泥	2200 混合廃 棄物
排出量	3.595	0.776	12.843	27.816	19.326	14.253	0.000	0.000

## ○ 計画 目標

単位 t

産業廃棄物の種類	0600 廃プラスチック	0700 紙くず	0800 木くず	1200 金属くず	1300 ガラスくず、コン クリートくず及び 陶磁器くず	1500 がれき類	0221 汚泥	2200 混合廃 棄物
排出量	3.24	0.70	11.56	25.03	17.39	12.83	0.00	0.00

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

### ○ 現状 前年度(2022年度) 実績

単位 t

産業廃棄物の種類	0600 廃プラスチック	0700 紙くず	0800 木くず	1200 金属くず	1300 ガラスくず、コン クリートくず及び 陶磁器くず	1500 がれき類	0221 汚泥	2200 混合廃 棄物
全処理委託量	3.60	0.78	12.84	27.82	19.33	14.25	0.00	0.00
優良認定処理業者への処理委託量	1.98	0.33	10.59	1.57	3.87	7.85	0.00	0.00
再生利用業者への処理委託量	1.13	0.78	12.84	27.82	16.33	14.25	0.00	0.00
認定熱回収業者への処理委託量	2.47	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

### ○ 計画 目標

単位 t

産業廃棄物の種類	0600 廃プラスチック	0700 紙くず	0800 木くず	1200 金属くず	1300 ガラスくず、コン クリートくず及び 陶磁器くず	1500 がれき類	0221 汚泥	2200 混合廃 棄物
全処理委託量	3.24	0.70	11.56	25.03	17.39	12.83	0.00	0.00
優良認定処理業者への処理委託量	1.78	0.29	9.53	1.41	3.48	7.07	0.00	0.00
再生利用業者への処理委託量	1.01	0.70	11.56	25.03	14.69	12.83	0.00	0.00
認定熱回収業者への処理委託量	2.22	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理について、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
  - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
  - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
  - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
  - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
  - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
  - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
  - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
  - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
  - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
  - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
  - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
  - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
  - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
  - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。